

# 岡山県感染症週報 2014 年 第 39 週 (9 月 22 日～9 月 28 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

## ◆2014 年 第 39 週 (9/22～9/28) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 第 37 週 2 類感染症 結核 5 名  
(10 代 女 1 名、30 代 女 1 名、70 代 男 1 名、80 代 男 1 名・女 1 名)
- 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 女)
- 第 38 週 2 類感染症 結核 6 名  
(20 代 女 1 名、30 代 女 1 名、50 代 女 1 名、60 代 男 1 名・女 1 名、  
70 代 女 1 名)
- 第 39 週 2 類感染症 結核 2 名 (80 代 男 1 名、90 代 男 1 名)

### ■定点把握感染症発生状況

- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 53 名 (定点あたり 0.69 → 0.98 人) の報告があり、前週より増加しました。
- RS ウイルス感染症は、県全体で 21 名 (定点あたり 0.46 → 0.39 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

### 【第 40 週 速報】

- 結核の集団感染がありました。2014 年 8 月、倉敷市保健所管内の介護老人保健施設において、結核患者が発生し、患者調査及び接触者健診を実施しました。その結果、新たに発病者 4 名、感染者 3 名が確認され、結核集団感染と判明しました。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**の発生報告はありませんでした。2014 年第 39 週までの累計報告数は 60 名となっています。岡山県では、「**腸管出血性大腸菌感染症 警報**」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『**腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中!**』をご覧ください。
2. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で 53 名 (定点あたり 0.69 → 0.98 人) の報告があり、前週より増加しました。過去 5 年間の同時期と比較して多い状態です。地域別では、美作地域 (2.67 人)、真庭地域 (2.00 人)、岡山市 (1.00 人) の順で報告数が多くなっており、特に美作地域 (定点あたり 0.83 → 2.67 人) では大きく増加しました。この感染症は、A 群溶血性レンサ球菌という細菌による感染症で、発熱、のどの痛み、嘔吐などがみられます。口腔内に小点状出血あるいは莓舌 (莓のように赤くブツブツしている舌) がみられることもあります。就学前から学童期の小児に多い感染症です。手洗いやうがいを行うなど、感染予防に努めましょう。
3. **RS ウイルス感染症**は、県全体で 21 名 (定点あたり 0.46 → 0.39 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、美作地域 (定点あたり 1.00 → 2.00 人) で患者報告数が増加しており、岡山市及び倉敷市においても発生報告がありました。第 38 週全国集計によると、鹿児島県 (2.67 人)、愛媛県 (2.49 人)、福岡県 (2.41 人) の順で報告数が多くなっており、西日本を中心に流行しています。この感染症は、RS ウイルスによる急性呼吸器感染症で、例年冬期に流行がみられていましたが、近年では夏頃から患者が報告されるようになりました。約 70% の乳児が、1 歳になるまでに RS ウイルスに感染するといわれています。また、乳児期早期 (生後数週間～数ヶ月) は、母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、肺炎や細気管支炎を引き起こし、重症化する恐れがあります。今後の発生状況に注意するとともに、特に乳児がいる家庭では、手洗いやうがいを行うなど感染予防に努めて下さい。お子さんの体調が悪いときは、早めに医療機関を受診して下さい。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		
突発性発疹		★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					

【記号の説明】 前週からの推移: : 2 倍以上の減少      : 1.1~2 倍未満の減少      : 1.1 未満の増減

: 1.1~2 倍未満の増加      : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし    ★: 僅か    ★★: 少し    ★★★: やや多い    ★★★★: 多い    ★★★★★: 非常に多い  
 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

保健所別報告患者数 2014年 39週 (2014/09/22～2014/09/28)

2014年10月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	21	0.39	5	0.36	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2.00
咽頭結膜熱	14	0.26	1	0.07	-	-	3	0.30	3	0.43	-	-	-	-	7	1.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	0.98	14	1.00	10	0.91	5	0.50	2	0.29	2	0.50	4	2.00	16	2.67
感染性胃腸炎	266	4.93	64	4.57	61	5.55	50	5.00	19	2.71	25	6.25	7	3.50	40	6.67
水痘	17	0.31	5	0.36	5	0.45	3	0.30	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	14	0.26	5	0.36	4	0.36	1	0.10	1	0.14	2	0.50	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	24	0.44	11	0.79	5	0.45	1	0.10	2	0.29	1	0.25	-	-	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	13	0.24	4	0.29	3	0.27	4	0.40	-	-	-	-	1	0.50	1	0.17
流行性耳下腺炎	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	1	0.20	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 39週 (2014/09/22～2014/09/28)

2014年10月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	0.26	1	0.07	-	-	3	0.30	3	0.43	-	-	-	-	7	1.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	0.98	14	1.00	10	0.91	5	0.50	2	0.29	2	0.50	4	2.00	16	2.67
感染性胃腸炎	266	4.93	64	4.57	61	5.55	50	5.00	19	2.71	25	6.25	7	3.50	40	6.67
水痘	17	0.31	5	0.36	5	0.45	3	0.30	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	14	0.26	5	0.36	4	0.36	1	0.10	1	0.14	2	0.50	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	13	0.24	4	0.29	3	0.27	4	0.40	-	-	-	-	1	0.50	1	0.17
流行性耳下腺炎	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	1	0.20	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2014年 第39週 2014/09/22～2014/09/28 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	21	6	3	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	-	-	2	4	1	1	3	1	-	1	-	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	-	-	-	1	2	6	9	10	2	7	6	6	-	4
感染性胃腸炎	266	5	30	42	23	24	23	17	16	8	14	6	23	6	29
水痘	17	-	2	-	2	6	2	1	1	-	-	1	-	-	2
手足口病	14	-	1	5	1	1	1	2	1	2	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	24	-	13	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	13	-	1	3	2	3	1	2	-	-	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

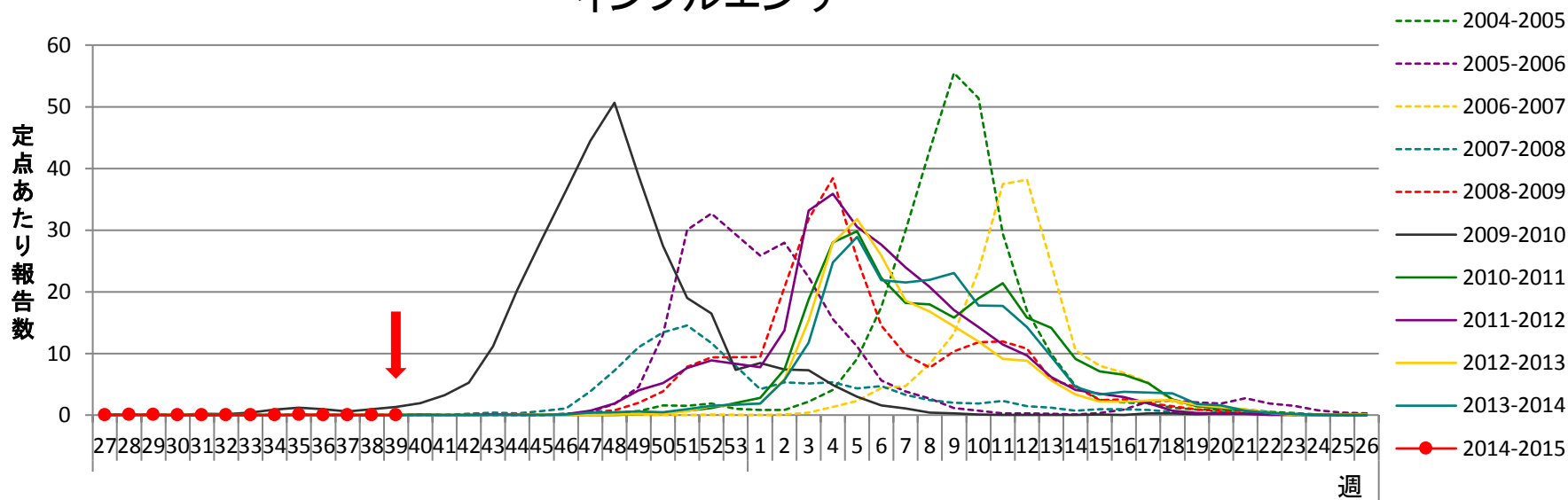
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

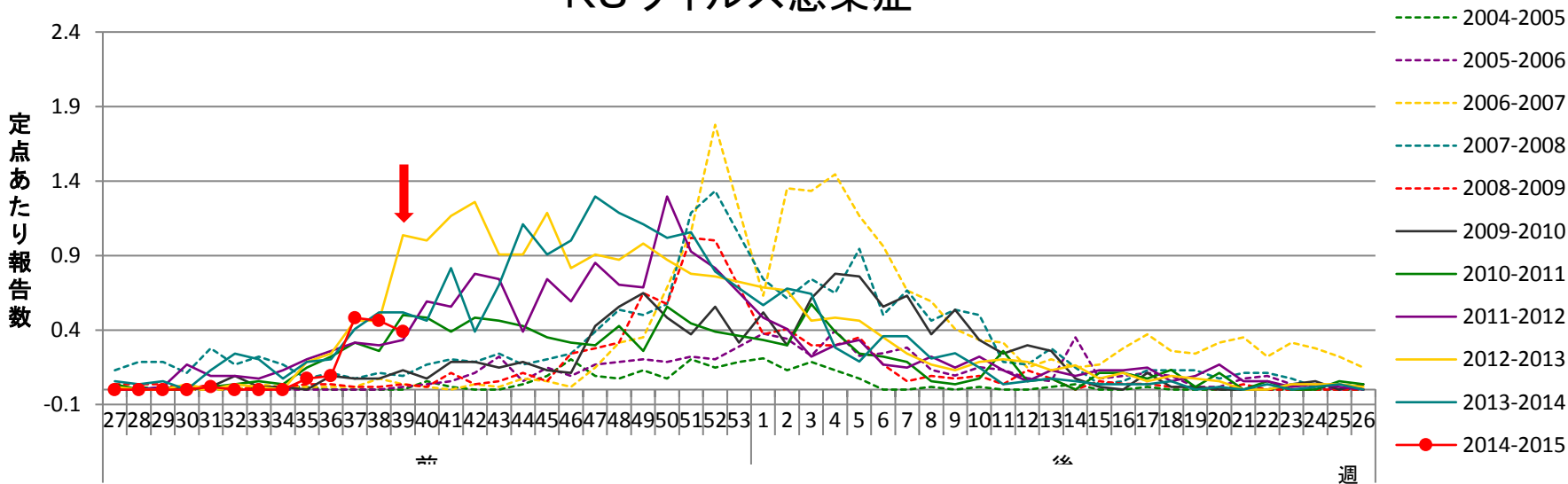
2014年 39週

分類	疾病名	2014			疾病名	2014			疾病名	2014		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	279	358	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	60	87
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	5
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	2	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	-	デング熱	-	1	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	1	日本紅斑熱	-	4	2	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	1	野兎病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	24	24	レプトスピラ症	-	-	2
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	7	20	ウイルス性肝炎*3	-	6	13	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	-	-
	急性脳炎*4	-	8	5	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	3	後天性免疫不全症候群	-	16	18	ジアルジア症	-	-	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	18	20
	水痘(入院例に限る。)	-	-	-	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	13	8
	播種性クリプトкокクス症	-	-	-	破傷風	-	1	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	1	風しん	-	2	76	麻しん	-	6	3
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-

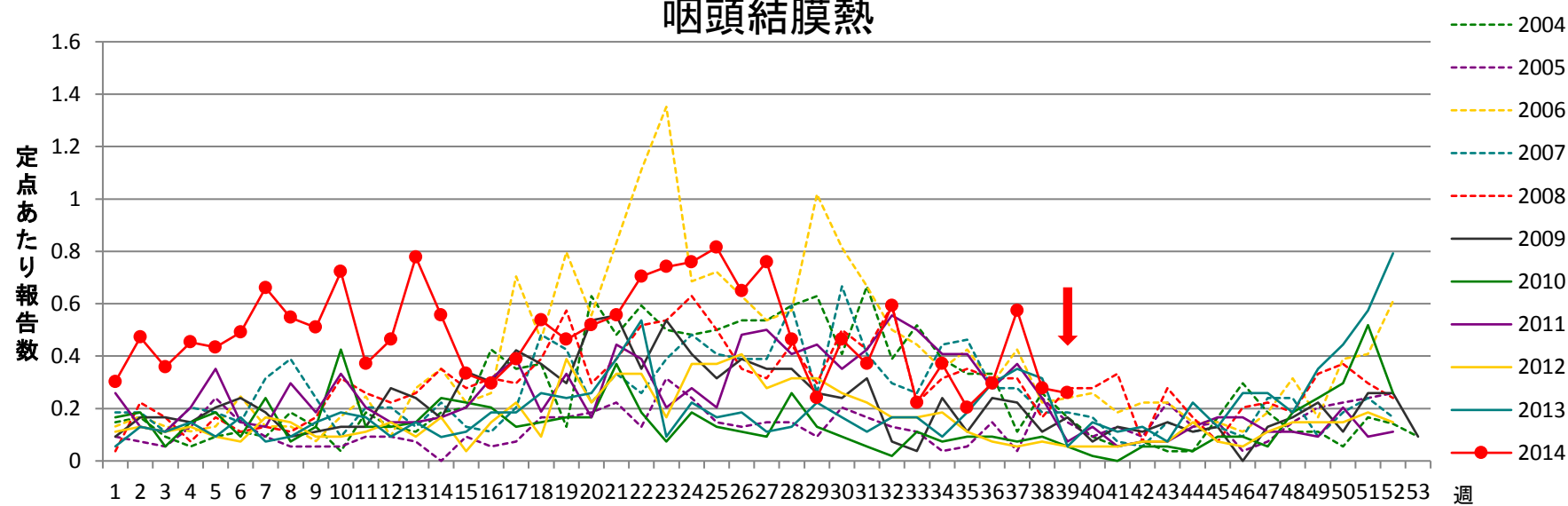
### インフルエンザ



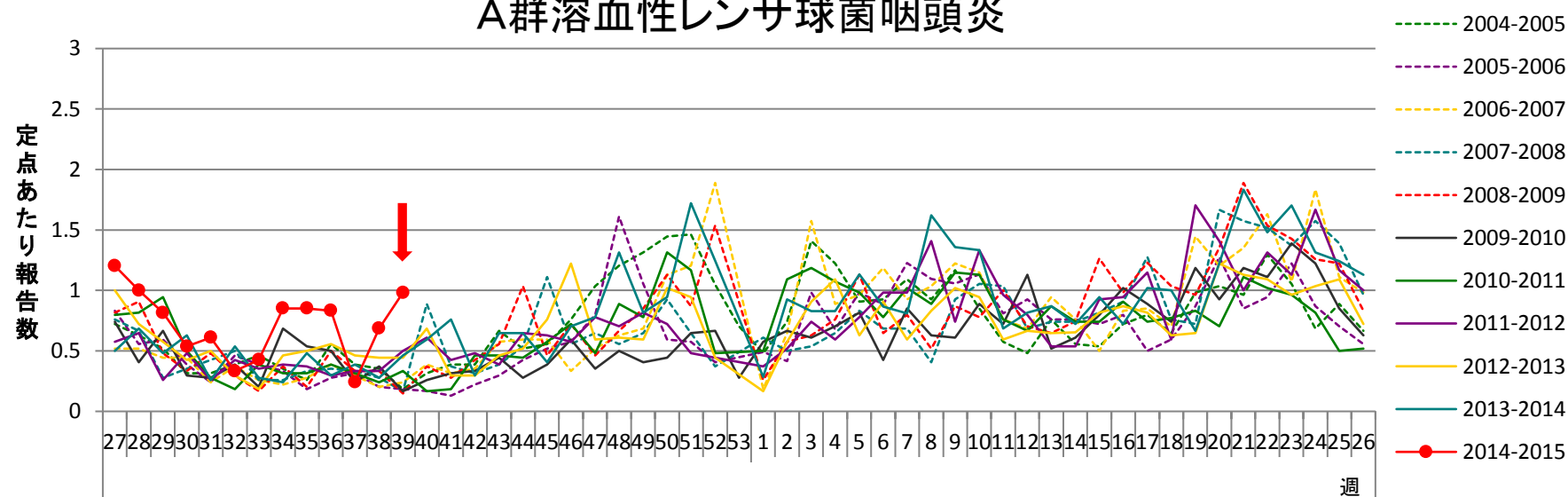
### RSウイルス感染症



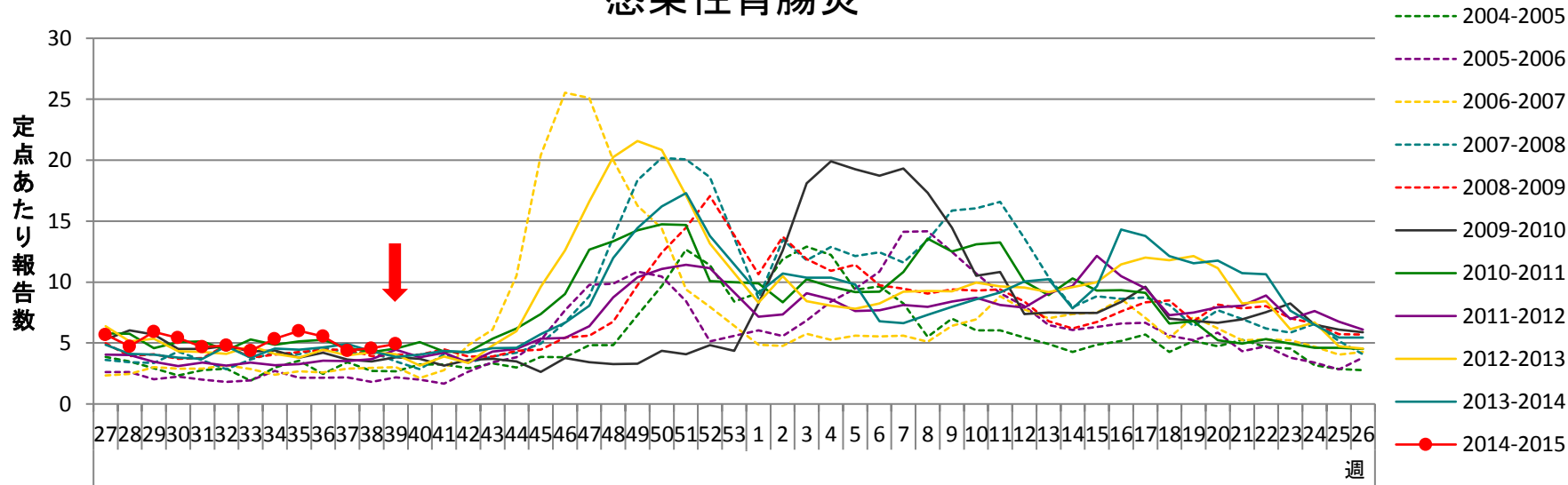
### 咽頭結膜熱



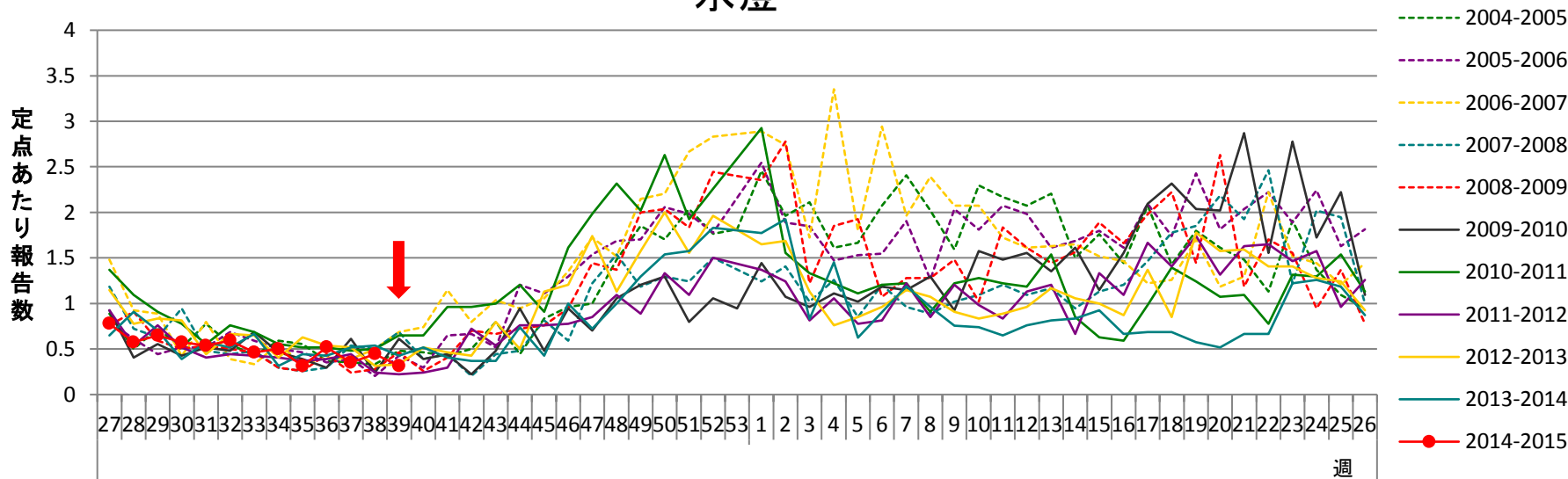
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



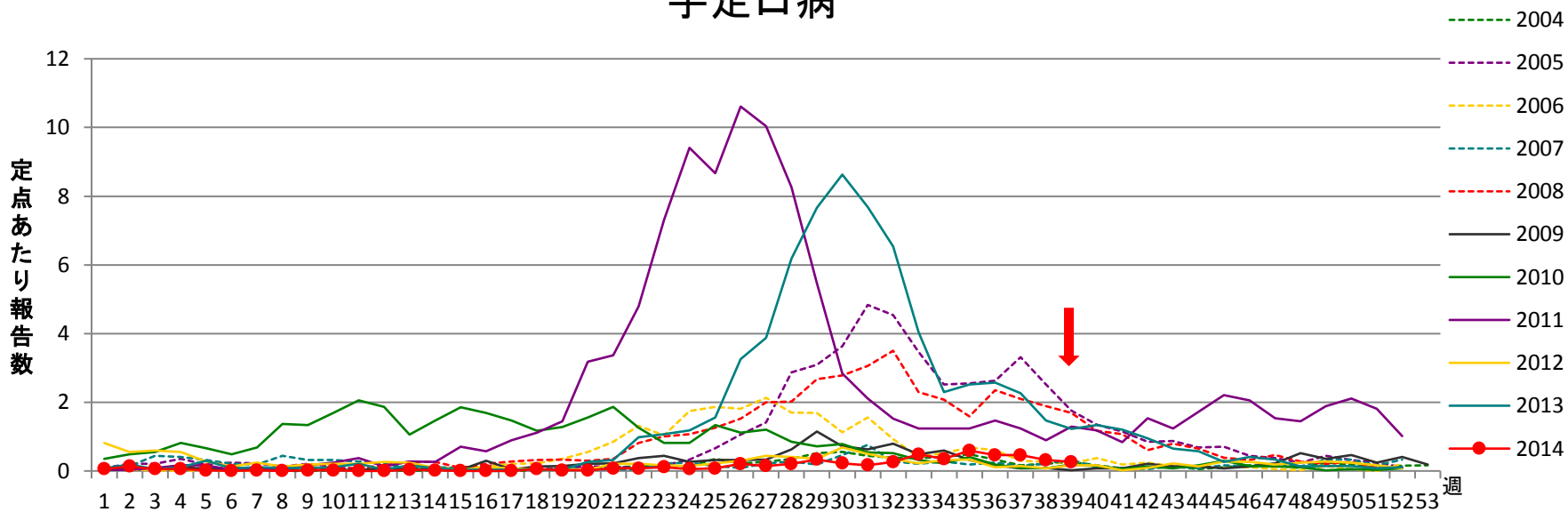
### 感染性胃腸炎



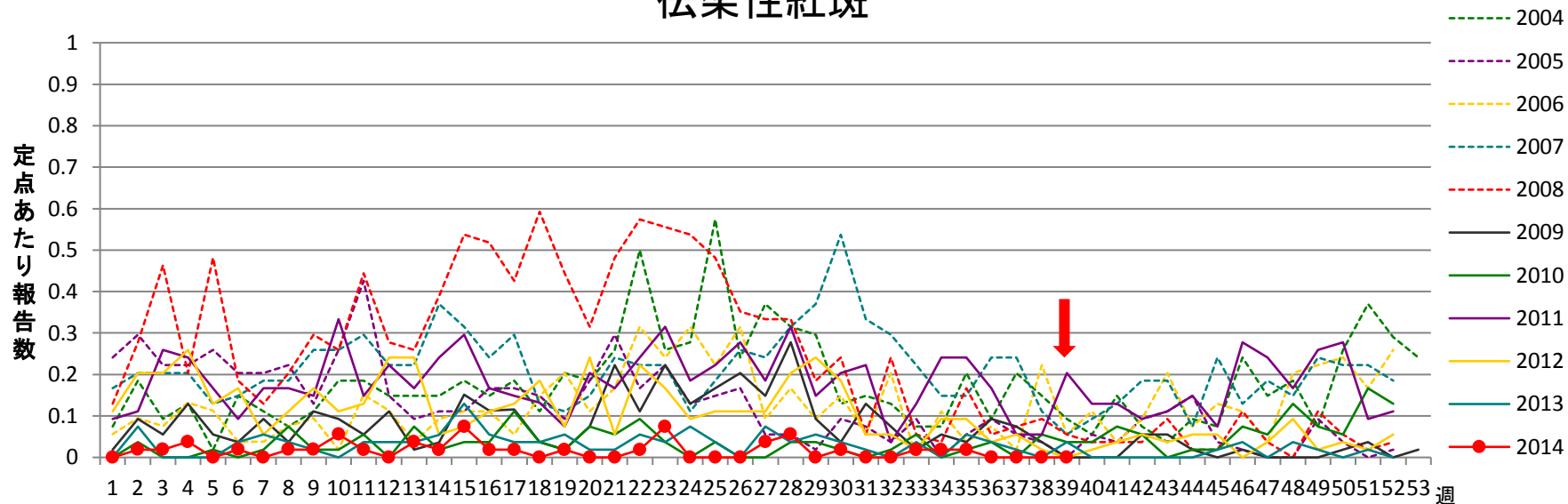
### 水痘



### 手足口病

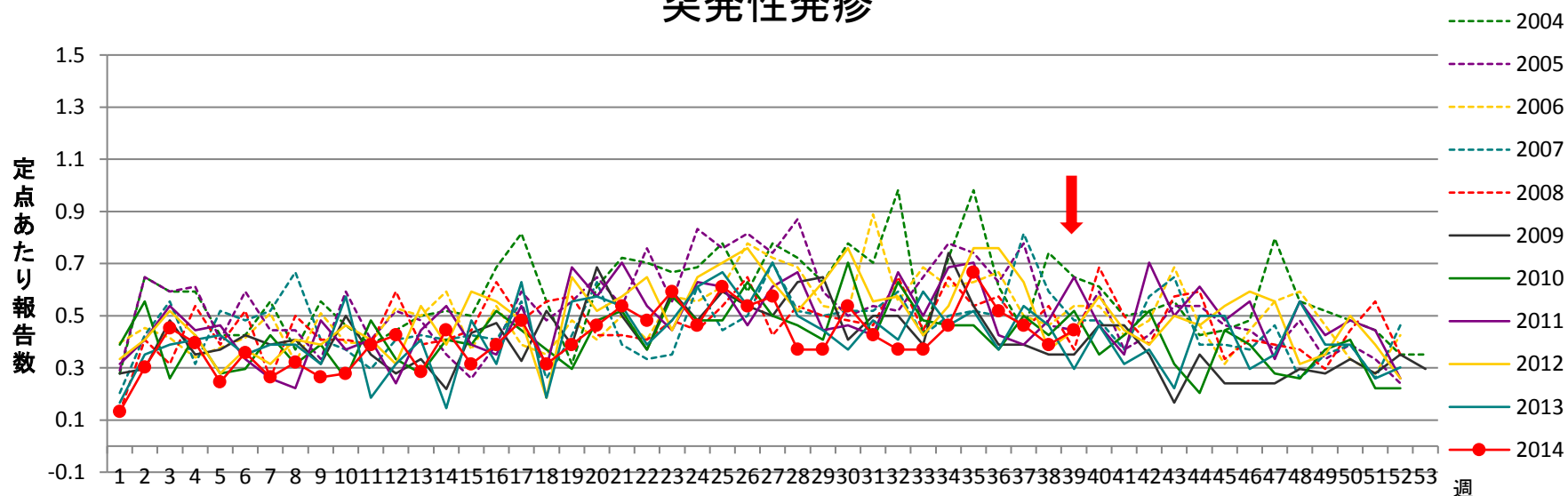


### 伝染性紅斑

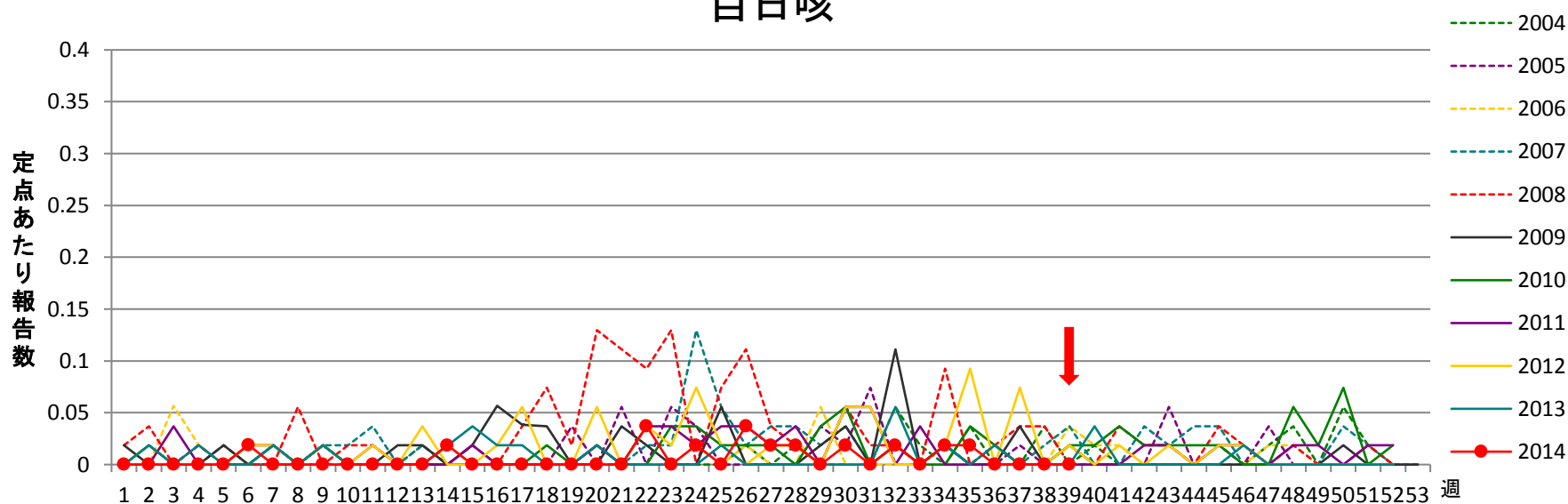




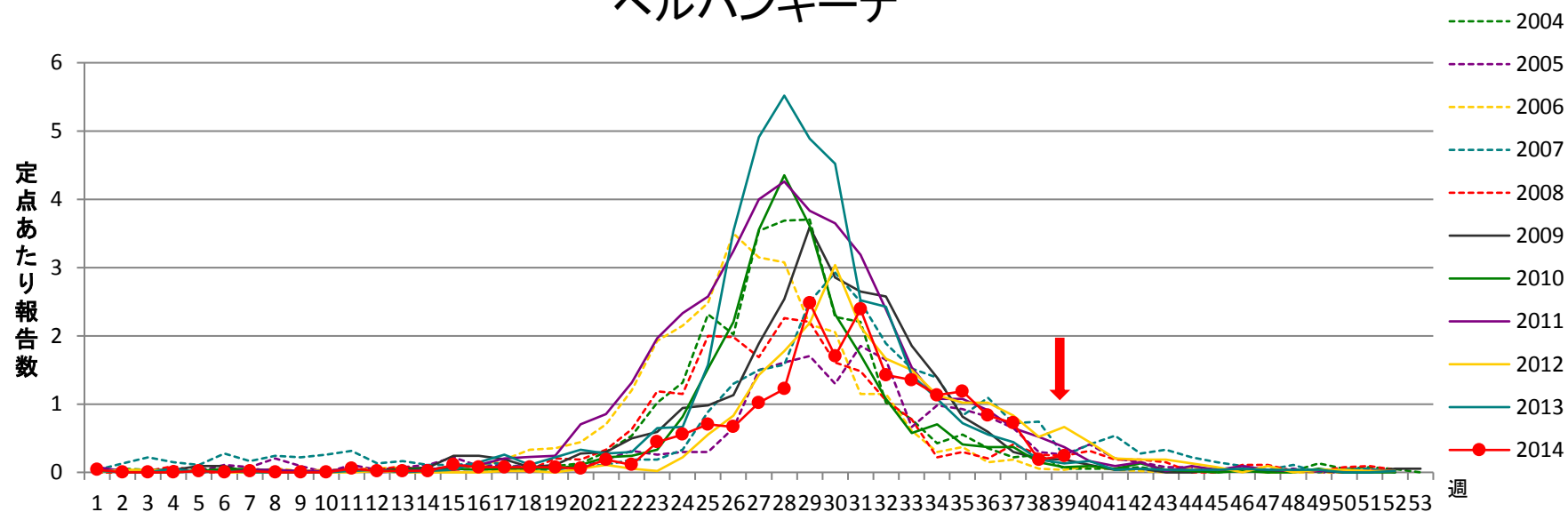
### 突発性発疹



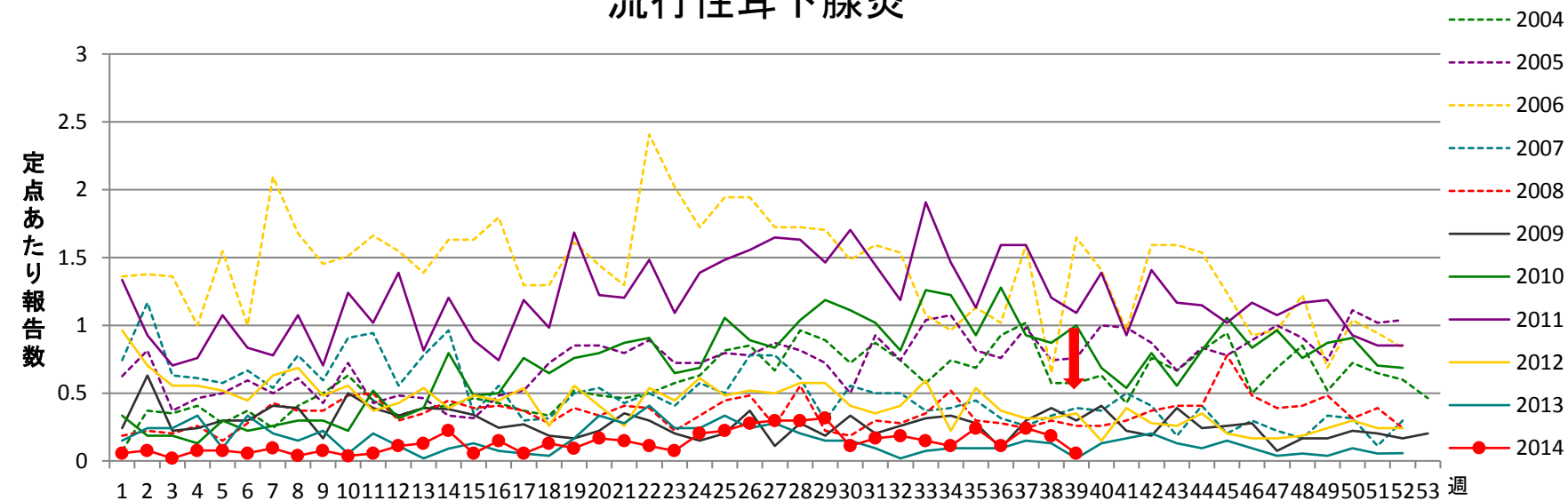
### 百日咳



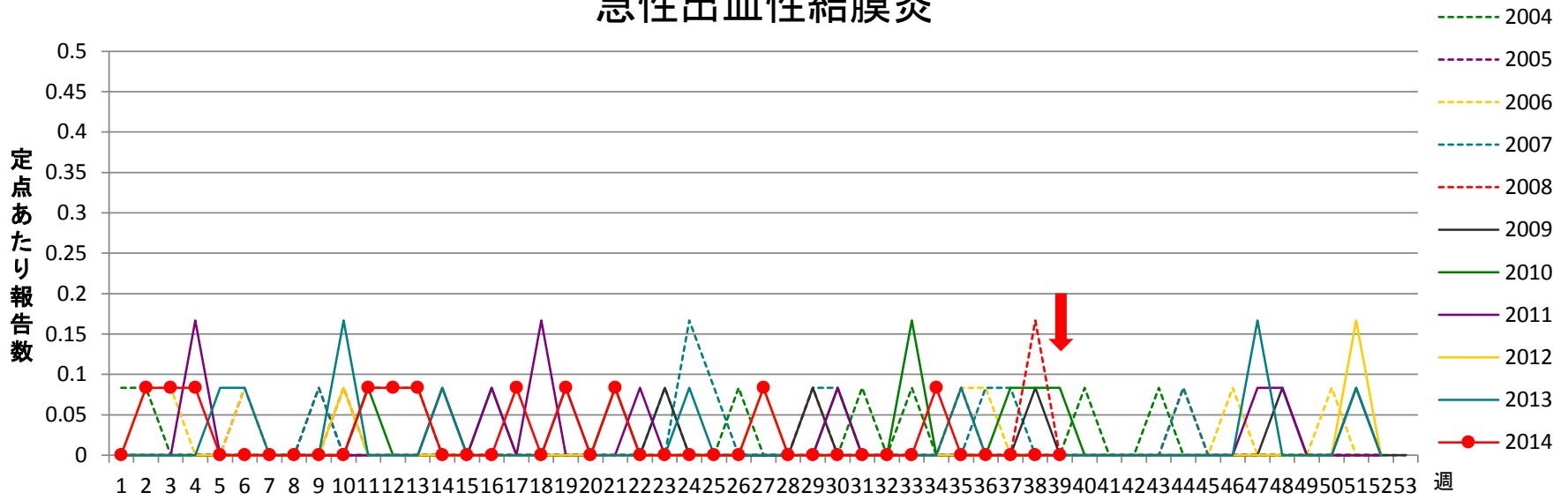
### ヘルパンギーナ



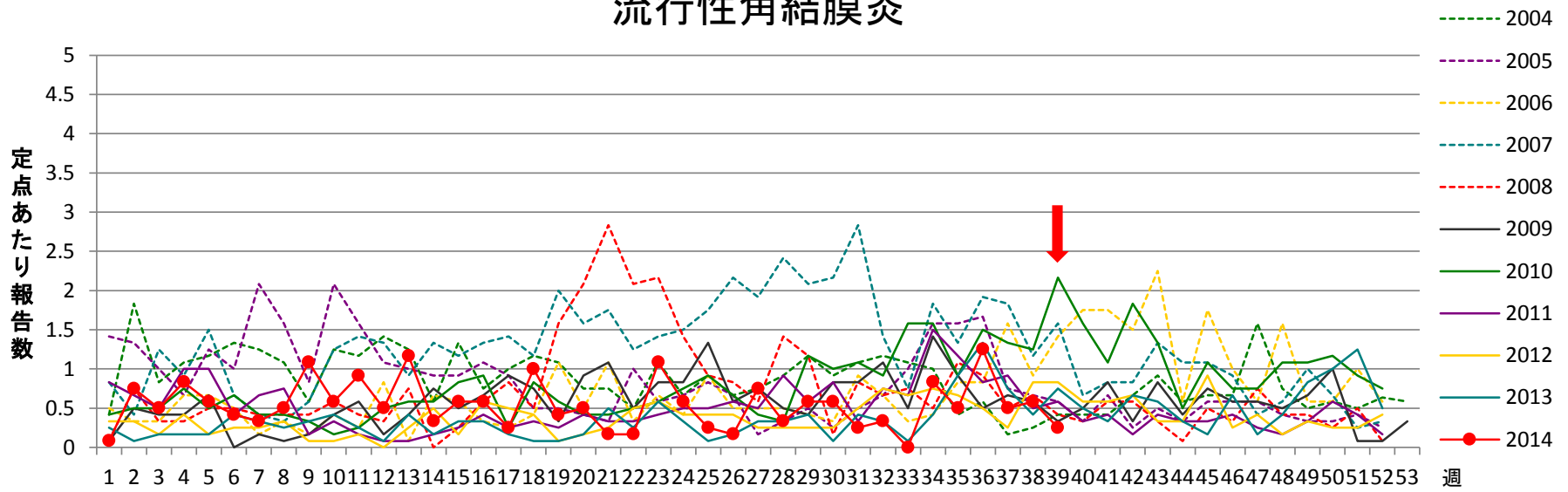
### 流行性耳下腺炎



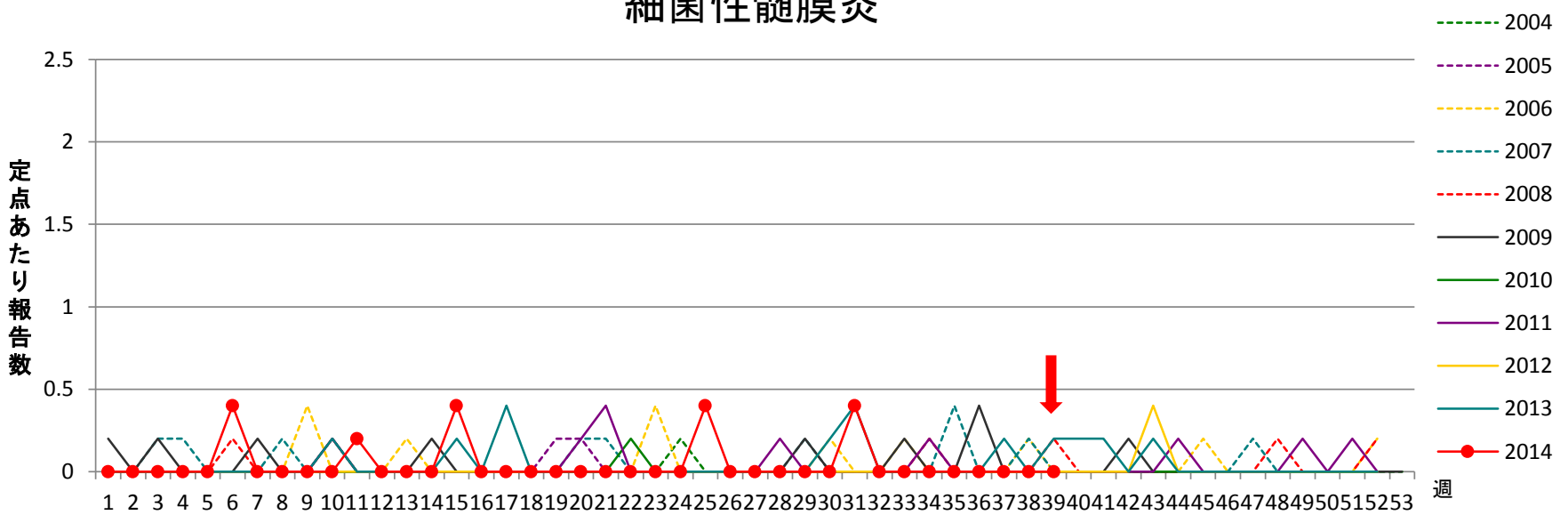
### 急性出血性結膜炎



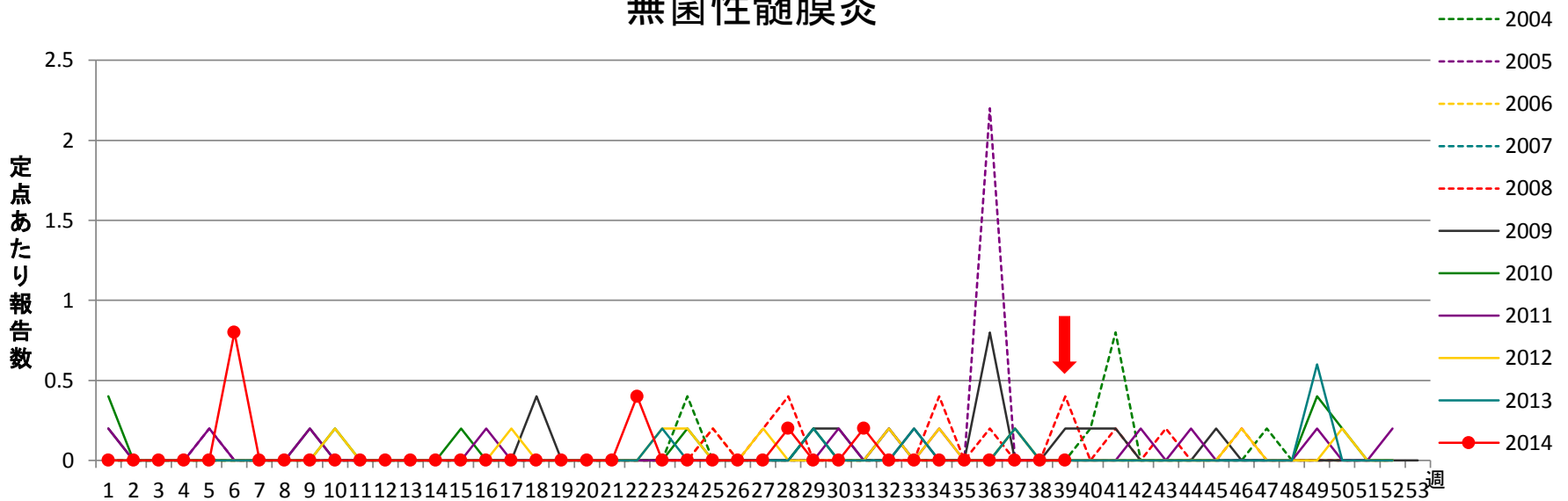
### 流行性角結膜炎



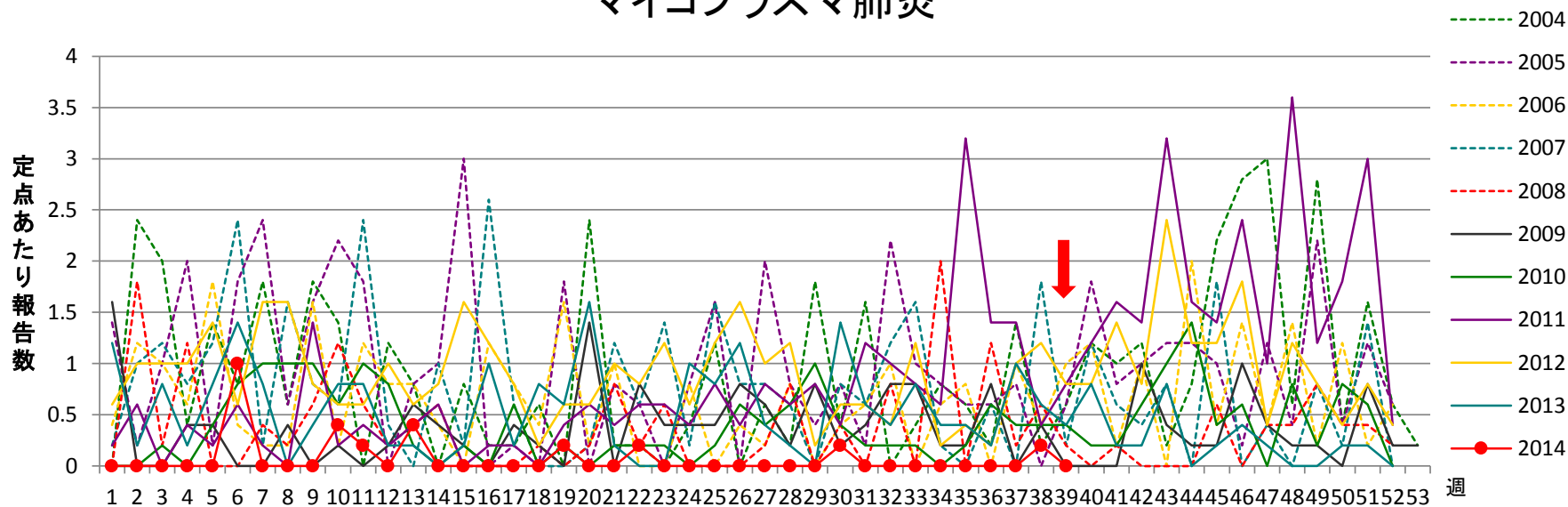
### 細菌性髄膜炎



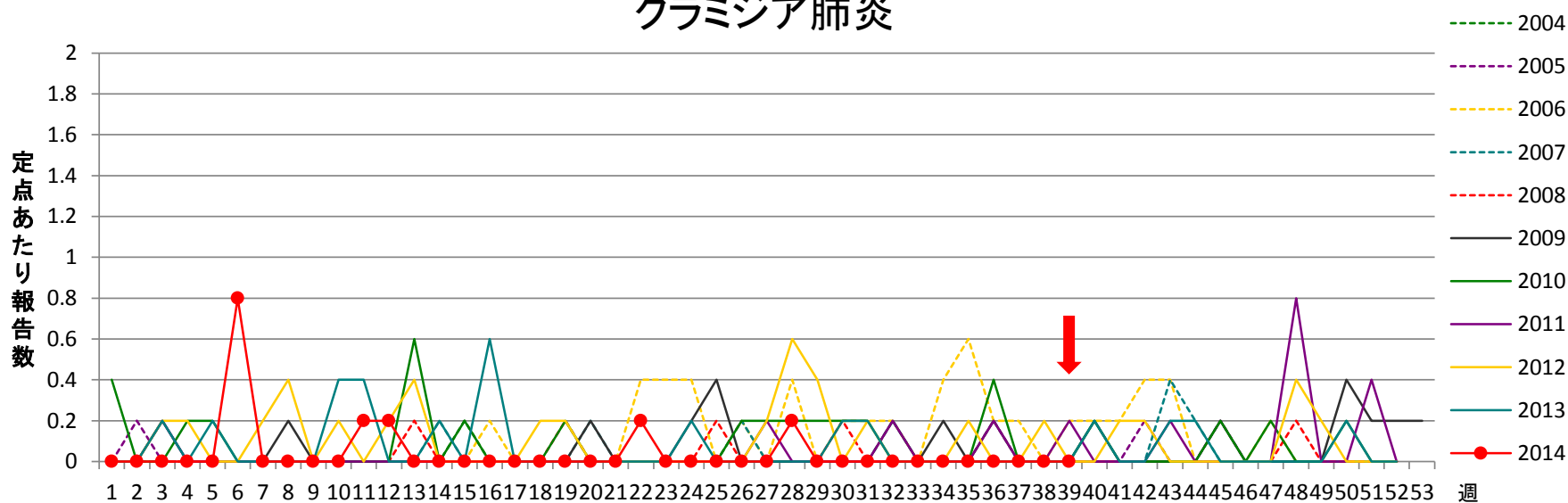
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

